

# 平成21年度の 研修事業成果

本機構では、平成21年度における研修事業として、下水道新技術研究発表会、技術マニュアル活用講習会、下水道新技術セミナー、新技術現場研修、技術サロンなどを公共団体の職員、民間企業の技術者を対象に実施しました。

## (1) 下水道新技術研究発表会（東京会場、大阪会場）＜参加289人＞

本機構が、公共団体および民間企業と共同研究した新技術の成果の紹介とその普及促進を目的に下水道技術者を対象とした第15回新技術発表会を東京、大阪の2会場で開催した。

特別講演：「平成22年度下水道事業予算について」 植松龍二 国土交通省下水道部町村下水道対策官  
「NEDOの水分野における研究開発の展望」 岡部忠久 NEDO環境技術開発部長

## (2) 技術マニュアル活用講習会（東京会場、大阪会場）＜参加175人＞

新技術の普及促進を目的に民間企業と共同研究を実施し成果をまとめた「技術マニュアル」を研修していただくため、「技術マニュアル活用講習会」を東京、大阪の2会場で実施した。

## (3) 下水道新技術セミナー（東京会場、大阪会場）＜参加1,100人＞

最新の下水道技術の紹介と技術者の技術力向上を目的に下水道技術者を対象とした新技術セミナーを東京、大阪の2会場で開催した。

- 第47回（平成21年6月）「下水道事業における地球温暖化対策」
- 第48回（平成21年8月）「下水道長寿命化支援制度に関する手引きについて」
- 第49回（平成21年11月）「下水道の国際協力とビジネス展開」
- 第50回（平成22年2月）「下水道BCP策定マニュアル（地震編）について」

## (4) 新技術現場研修会＜参加74人＞

公共団体および民間企業等の技術者を対象に、下水処理の最新設備、下水道施設の維持管理、工事現場等の実態把握と意見交換を目的として実施しています。

- ・下水汚泥燃料化施設における汚泥乾燥造粒燃料化新技術（宮城県・県南浄化センター）
- ・下水汚泥と木質系バイオマスの混合焼却施設（東京都・多摩川上流水再生センター）

## (5) 技術サロン＜参加378人＞

公共団体や民間企業の技術者を対象に技術情報等の取得を目的とする技術サロンを開催した。

- ・（4月）「下水道における温暖化防止対策について」
- ・（5月）「管路のストックマネジメントについて」－欧米諸国の老朽化問題－
- ・（6月）「都市雨水排水モデル国際会議について」
- ・（7月）「下水道の海外事業について」
- ・（9月）「東京都の技術開発について」
- ・（10月）台風のためサロン中止
- ・（11月）「日本版次世代MBR技術展開プロジェクト（A-JUMP）について」
- ・（12月）「世界の水環境問題に貢献する日本の膜技術と日本の水国家戦略」
- ・（平成22年1月）「下水道機構の抱負」
- ・（2月）「下水処理水の海外輸出可能性（バラスト水）について」
- ・（3月）「知財マネジメントについて」